

上越教育大学自然系理科地学教室
卒業論文・修士論文中間発表プログラム

期日：平成 27 年 12 月 23 日（水・祝）

会場：講義棟 302 教室

■開会の辞 13：00～13：05 天野 和孝 教授

■発表

1. アンモニア分子輝線観測に基づくオリオン座 B 分子雲の観測

13：05～13：35

学部 3 年 栗林 宏充

2. アンモニア分子輝線観測に基づく超新星残骸 W28 に付随する分子雲の研究

13：35～14：05

学部 3 年 本田 愛莉

3. ALMA のキャリブレーターを用いた星間雲の分子吸収線探査

14：05～14：35

大学院 2 年 高橋 亮

4. 天文分野学習における視点移動に関する理解度とそれに影響をおよぼす要因

14：35～15：05

大学院 2 年 横尾 信行

休憩 15：05～15：15

5. アンモニア分子輝線観測に基づく暗黒星雲 L134N の研究

15：15～15：45

学部 4 年 木村 圭太

6. 天体の日周運動と年周運動を理解するための全天画像を用いた web 教材開発

15：45～16：15

学部 4 年 斉藤 美妃

7. 銀河面サーベイに基づいた星形成領域 M17 における分子雲の研究

16：15～16：45

大学院 3 年 小林 幸典

■閉会の辞 16：45～16：50 濤崎 智佳 准教授

■講演 17：00～18：00

「恐竜絶滅直後の化石群集 —北海道浦幌町の暁新世貝化石を中心に—」

上越教育大学地学研究室 天野 和孝 教授

■ハンマー祭 会場：自然棟 602 教室
18：30～